

あかあし

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

企画・制作：株式会社 新聞ビル

クロスメディアを総合力でプロデュースする

PTC GROUP

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525 (代) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>

元氣のでてくる「ことばたち」

193



撮影・鶴崎燃

村上信夫

を考ながら練習している。練習のときからあまり考えずに意味のない音を出している、舞台でも出てしまうのだそう。

小学4年生のときのコンクールで優勝を

さん。まだ自分の地盤もできていなかった。その時点で、まずは留学しようと思った。その時点で、ヨーロッパは伝統文化が少し重く感じられたので、留学先はニューヨークのジュリアード音楽院にした。アメリカでは音楽の勉強だけでなく、コロンビア大学で政治思想の勉強もした。音楽一辺倒でない、このときの経験が、自

■村上信夫プロフィール
2001年から11年に渡り、『ラジオピタミン』や『鎌田實いのちの対話』など、NHKラジオの「声」として活躍。現在は、全国を回り「嬉しい言葉の種まき」(毎週日曜10:00~)、月刊『清流』連載対談~ときめきトークなどで、新たな境地を開いている。大阪で『ことば磨き塾』主宰。1953年、京都生まれ。元NHKエグゼクティブアナウンサー。これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。著書に『嬉しいことばの種まき』『ことばのビタミン』(近代文藝社)『ラジオが好き!』(海竜社)など。趣味、将棋(二段)。
<http://murakaminobuo.com>

100種類の料理を覚えた。ここでも、ストイック。やはりはじめたら、とことん突き詰めなければ気が済まない。「舌」は牛乳に漬けて臭みを取ってから焼くとか、肉を焼いて出た肉汁をソースに加えると味が全然違ってるとか。知らないことを知るので、楽しいんです。もっと知りたいという気持ちがあるから、勉強もヴァイオリンも、きつと苦にならないんです。

すべては、

日々の積み重ねの上にある

ヴァイオリニスト 諏訪内晶子さん

意の意味
世界的に最も権威あるチャイコフスキー国際コンクールで、18歳のときに史上最年少の優勝を果たしたヴァイオリニストの諏訪内晶子さん。「NHKおはよう日本」の出演時以来20年ぶりの再会を果たした。

そのとき、色紙に好きな言葉を書いてとお願いしたら、ものすごく悩んだ末に、一文字書いてくれた。そのことを言うと、『翔』もいかなと迷いながら結局『意』という字を書きました」と、よく覚えていた。

当時、「意」は、意味のある音を出すということ、それが「音の心でもある」と説明してくれた。「音の心というより、音楽全体に意味があるといったほうがよかったですね」と述べた。

迷いに迷って書いた『意』。いまにして思えば、諏訪内晶子を体現する文字だと思ふ。意志の強い人だ。それは、時の流れの中でも不変だ。自分の時々置かれた立場の意味を理解し、意図した上での行動をとってきた。それが聴き手に「音の心」を意識させる演奏につながるのだろう。

逃してから練習を怠らないようになってしまった。東日本大会で一位をとった時点で緊張が解け、全国大会まで遊んでしまったことが悔しかった。きちんと準備をしていなかった自分が許せなかったのだ。

チャイコフスキー国際コンクールの前に、3回大きなコンクールを受けているが、いつも二位だった。「その頃はどこか自分に自信がなくて、人を納得させるだけの演奏には至ってなかった」

「チャイコフスキーのときは、やるべきことは全部やったからこれでダメなら仕方がないと思うほど、自分を追い込んでいました。最後は結果なんてどうでもいいと思っただけです」。

そこまで自分を追い込んだことが、花開く結果に繋がった。「一番大きな舞台で、私にはありえないと思った賞をいただける光栄でした」。

分の視野を広げてくれ、大いに役立っている。何でも徹底的に追求するストイックな性質のようだ。

アメリカで学んだあとは、ドイツの国立ベルリン芸術大学で学び、日本に戻らないまま、いまはパリに住んでいる。もうどの国の人もかわからない「地球人」という感じだ。

フランスでも、勉強熱心さは続く。フランス料理のソースの作り方を知らなくて、プロの料理人を養成する料理学校に通った。土日を除き一日10時間、

日本に恩返し
海外生活が長いと、日本人であることを強く意識するようになるという。諏訪内さんも日本に何かお返ししたいという気持ちが強くなった。

『国際音楽祭NIPPON』を立案して芸術監督を務めることになった。この音楽祭は今年で3回目を迎える。柱は、被災地支援だが、現代の作曲家に委嘱した作品も紹介する。「現代の作品を世に送り出していくことも、私の一つの役目かなと思っています。現代の作品をお披露目することで、それが未来に残る曲となるかもしれないですね。私はモーツァルトと対話することは出来ませんが、現代作曲家とは対話も出来るし理解もしやすい。作品を初演する責任感と緊張感がありますが、やりがいがあります」。

「0歳児から聴くコンサート」や、若い世代を指導する「公開マスタークラス」を行うのも、次世代を育てることを意識している。「私は3歳のときに巨匠のヴァイオリン演奏会を聴いて、体中に衝撃を受けました。たかさんのことを吸収する時期に、音楽の魅力を体験する機会を多く作りたいという気持ちがあるんです」「子どもたちは、ポイントを教えるだけで劇的に変わります。指導者は、的確なアドバイスで生徒が自信をもてるような後押しをしていくことが大事ですね」。

「自信は自分が過ごした時間から生まれるもの。同じことを何度も繰り返してやっていると、あるときパッと開ける瞬間がある。それを見つめるために、日々の積み重ねを揺るがすことはない」と諏訪内さんは、きっぱり言い切る。イチローもそうだが、すべては日々の積み重ねの上にあるのだと感心する。

ストイック

諏訪内さんは、常に音楽全体の意味

だが、ここで浮かれないのが諏訪内



俳画/イネ・セイミ

「0歳児から聴くコンサート」や、若い世代を指導する「公開マスタークラス」を行うのも、次世代を育てることを意識している。「私は3歳のときに巨匠のヴァイオリン演奏会を聴いて、体中に衝撃を受けました。たかさんのことを吸収する時期に、音楽の魅力を体験する機会を多く作りたいという気持ちがあるんです」「子どもたちは、ポイントを教えるだけで劇的に変わります。指導者は、的確なアドバイスで生徒が自信をもてるような後押しをしていくことが大事ですね」。

インディアンフルート教室
開講しています。
誰でも簡単に音が出せる楽器です。あなたも今日からインディアンフルートを奏でる姿が楽しみです。
講師 **イネ・セイミ**
(日本インディアンフルートサークル協会ディレクター)
1レッスン・30分3,500円 会場・半田市榎ヶ丘
申込み 0569-89-7127
お問合せ seimi@oasis.ocn.ne.jp

嬉しいことばの種まき
好評発売中

俳画教室開講中
常滑屋
とき 俳画教室月二回 午後一時~三時
会費 一回 二,二五〇円(三ヶ月分前納制)
問合せ ☎〇五六九(三三)〇四七〇

フルート奏者として活躍中。俳画家。
絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』 就職

—自分ドラマつくろう— (43) 岡田 清治

舞の就職2

—舞さま

忙しいところ、メールいただきありがとうございます。当日、演奏会のあと大阪で用事があったので終了後すぐに会場を出ることになり舞さんに会えずに帰りました。

演奏会、とても迫力があり良かったです。一段とまくなつたように思いました。ダンス部とのコラボの演出もよかったです。いつの間にか、自分たちも引き込まれて手や足を動かしていました。元気をもらって足取りも軽く帰りました。

このレベルならオーストラリアでもうけたと思います。また、お会いしましょう。

真三様

その後、舞からは近況報告の手紙もきました。舞が三年に進級して久しぶりに長文の手紙であつた。

—おじさん、おばさんへ
こんにちは。夏になり蒸し暑い日が続いていますが、いかがお過ごしですか？私は相変わらず部活と勉強でタタタの毎日です。

さて、この間部活でコンクール本選に出場するメンバーを決めるオーディションがありました。最後のコンクールであり、チューダパートのリーダーも務めているので、私にとって絶対に落ちることのできないオーディションに私は落ちてしまいました。三年生は二十八人中三人だけ落ちてしまいました。

なぜ、落ちてしまったのか、これからどうすればいいのか、自分をただひたすらに責め続けることしかできませんでした。その発表の日、私はただ泣き続けました。あれほど泣いたのは、父が亡くなった時以来でしょうか。その後、一週間は笑うことができないときもありました。頭の中では、部活のことしか考えることができませんでした。

みんなより劣っている、どん底にいるような気分は発表から一週間たった今もずっと続いています。本当に辛くて、いまだに本選じゃないメンバーを三年生としてどう育てていくか、チューダパートや同い年の子後輩たちとどう接していくのか、よくわかっていません。自分を縛っていることで、なんとか普通にいられているのかも知れません。でももう自分を縛うことに疲れたし、同い年の本選メンバーには、伝わらない何かがあるし、伝えるのは迷惑だろうな、と悩みを言うこともできません。他の落ちた三年生は、何かどこか、もうあきらめモード、「どうせ私は下手だからもういい」と思ってしまうことなく、そう見えてしまうのです。落ちたメンバーの中で、去年は本選メンバーに入れたというのはいくらでも、それだけにプライドもあります。自信をなくしたまま挫折したいなものもあります。だから今さらでも向上心を持っているつもり

です。だから周りがぬるい空気だと、すごくイライラしてしまいます。

発表当日に一つ上の先輩に、先日は二つ上の先輩と中学の頃からお世話になってる先輩に、オーディションに落ちたことを伝えました。日頃からたくさんお世話になってるだけでなく、以前ずっと部活をやめたか」と思っていた時にたくさん迷惑をおかけしたか



写真：常滑(著者撮影)

らです。全く前を向こうとせず、暗い方にしか事を捉えようとしなかった私に、先輩方は時に厳しい言葉で訴えかけ、何度も私を変えようとしてくださいました。ここまで続けられてくれたのには、先輩方のおかげだという理由もあると思います。本来ならば、その感謝を自分の成長で本選メンバーとして素晴らしい演奏をすることで恩返しすべきだと思うのですが、私はそれができません。

ですが、私は前を向いています。今は、前に進む努力をしています。昔の私なら絶対にひねくれていたのに、先輩方の言葉一つひとつが私がこのような結果になった時でも、そこで踏ん張ろうとする力をくださいました。だから、せめて感謝の気持ちを最後まで、引退までやりきることを示そうと思います。お父さんが生きていても、この思いに賛成してくれたらどうと考

えます。オーディションに落ちた時には、何て言葉をかけてくれたらとうという想像はつきませんが、とにかく、私は今できることを精一杯やります。やりきります。みんなと笑って引退します。その日まで、何度悔しい涙を流そうとも、最後には笑えるように、その日をゴールにひと夏を越したいと思います。まともりのない文章ですみません。

舞

真三はこの手紙を読んでいぶん成長したなど、涙が出た。しかもオーディションに落ちたことは、いたたまれないほど辛いのに、多少、言葉使いにおかしなところがあつたとしても、よくまとめていると感心するのだった。

やはり部の先輩たちの助言が非常に効果があつたことがわかる。これが裏目に出たらやめていたかも知れないと思うと、大変な応援メッセージになつたのだ。これ以上、真三から書く必要はないと思つたが、ここは元気づけるためにも、手紙を書いた。

—舞さま

蒸し暑い日が続きますね。そうした時に本選メンバーに落ちた知らせが届きました。実態を知らずに、あまり無責任な言葉も見つかりません。しかし、これにくじけず、最後までがんばるという気持ちは伝わってきます。

ここでくじけたり、ひねくれたりしたら本当の負けになってしまいます。素直な心で落ちたことを認め、仲間の人たちとは自然体で付き合うことが大切で、長い人生ではいくらでも挫折感を味わうことがあります。しかしそれをバネにして生きていくことが、結局強い人間になれます。

叔父さんの息子も高校でサッカー部のレギュラーで、フォワードのポジションを獲得してきました。それで大学でもサッカーを続けましたが、卒業までレギュラーを取れず、後輩と一緒に応援団の指揮をとって大声を上げながら同期の活躍を見守っていました。

はじめは辛そうだったが仲間と一緒に卒業でき、今も彼らと付き合っています。途中でやめずに続けたことは、社会に入ってからサッカー経験が役立つよう

舞さんのお父さんも「舞、最後までよくがんばつたね」と天国から声をかけてくれると思いますよ。どうしても人間は目先のことで一喜一憂しますが、ちよつと長い目で見れば、「あんなこともあつたな」と振り返られるような時がきます。友達も「よくがんばつたね」と思うはず。大事なことはこのことにくじけず、強い心を養うことです。それが必ず、将来に生きてきます。

舞さんの本当の気持ちを教えてくれて安心していただけます。時間がきた時にみんなで食事でもしましょう。十分、舞さんの気持ちを汲んでいないかも知れないが、いつでも悩みを伝えてください。

真三様

最近、新聞紙上やテレビ報道で高校生の残酷な事件を目にするだけに、舞がくじけずに健全な道を歩んでくれていることに内心、ほつとした。「実力がなかったから仕方がない」と思っている、そんな言葉をかける、本当に無謀になつてしまふ。それだけに労働者の仕方は、褒める以上に難しい。世の中の親たちの中には人をばばからず、「そんなことはダメだ」と罵倒している姿に目をつむりたくなる時がある。その一言が子どもの内面に刃物で突き刺したことになる。かもしれないのである。

労わりとは単に、やさしくするだけではどうにもならない時がある。同じ境遇に置かれた仲間同士なら傷のなめ合いになって、一時は気が安らぐだろうが、彼らより優位にある友人、知人と接した時に平常心で扱われるかどうか、疑問が残る。ある人は劣等感に陥るか、彼らと離れていくか、自暴自棄になつて事件を起こすかもしれない。

真三は長い人生を振り返る時、「とにかく、やりきる」ことが大事で途中で投げ出して中途半端に過ごすことがいけないと思つている。そうはいっても人間は誰もが強くない。「やりきる」ことが、いかに大変なことであるかは事実である。恋愛一つとっても「好きな人」に代かた悲恋物語が続いていること、わかた。

途中であきらめてしまうのも人間の性であるとも言える。運・鈍・根—という故事があるが、運がいい、悪いはその人の実力とは関係なしにある。これは紙一重とも言えるし、鈍や根とも関係しているように思える。がまん強く根気よく継続してとことん続ける人には運が向くこともある一方で、向かない人もいる。

—努力が効果をあらわすまでには時間がかかる。多くの人はそれまでに飽き、迷い、挫折する。自動車王、ヘンリー・フォードの言葉である。

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「イン」ド「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。FAX…0569-34-7971 Eメール…takamisus@akai-shinhuntent.net

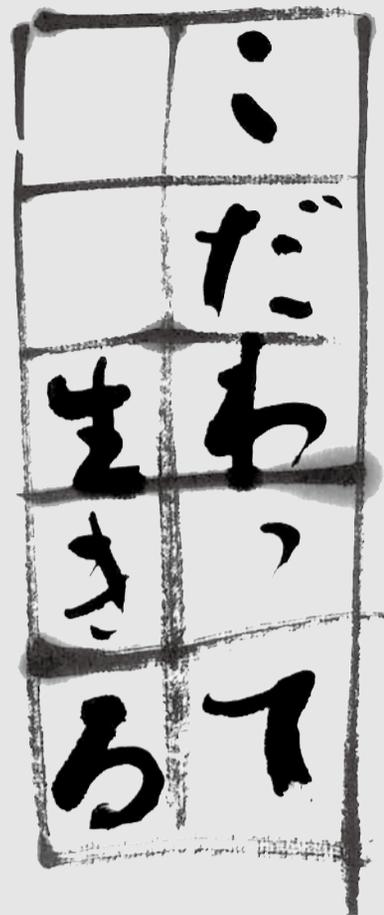


プロフィール

著者：岡田清治おかせいじ

一九四二年生まれ ジャーナリスト (編集プロダクションNET108代表) 著書に『高野山開創二百年いっばんさん行状記』『心の遺言』『あなたは社員の全能力を引き出せますか』『リヨンで見た虹』など多数

絵手紙集



絵文 椋山善久

返文 小林玲子

椋山善久

昭和十一年碧南市で生まれる。丸栄陶業株式会社代表取締役。碧南商工会議所会頭。愛知県陶器瓦工業組合理事長。全国陶器瓦工業組合連合会理事長などを歴任。平成十三年藍綬褒章受賞。平成二十二年旭日小授章受賞。丸栄陶業株式会社取締役会長 現在に至る。京都造形芸術大学・通信教育部芸術学部美術科・洋画コース四年次在学中。

小林玲子

碧南市に育つ。西尾市在住。共著「西尾の民話」童話「サケの子ピッチ」随筆「海辺のそよ風」(中経コラム「閑人帳」より) ミュージカル脚本 「みぐりちゃんのおうち」ほか



残り飯
黄リンゴット
ホルト味

リンゴット料理は、寒ぶれ一番

前略、九月ポルトガル旅行で、さうのリンゴットとワインで美味しく食べました。その後ポルトガル風の残り飯オシヤを自宅で作ります。料理方法は、①玉ねぎとニンニクをみじん切にし、フライパンで炒め、塩・胡椒を入れる。②その中へ水とコンソメスープの素を加え沸湯させる。③いかに海老・茸等を入れ、ケチャップや醤油・胡椒・塩で味を調える。④残り飯を水で洗って、②の鍋に入れて、チウと煮る。酒を飲むには、日本酒の常酒で食べると最高です。

善久

ポルト風リンゴットの絵手紙ありがとうございます。悠久子様のお料理は白竹パーティーで保証済みさぞおいしくろうと湯気の向うのお顔が浮かびます。本格的になってきた御画とともに幸せを頂きました。婆の作るおじやをリンゴットに昇格せんとレシピを眺めております。私め、二十三・四日と丹波亀岡の温泉にグループ旅行致しました。嵐山は紅葉もわんさ、人もわんさか、少し疲れましたが、亀峰菴という湯宿が閑静でお料理もおいしくこれまた幸せでした。生きていればこうしたことにも巡り会えますね。体を鍛えなくっちゃと我が身を励ましております。いつもながらの様々なご温情に感謝申し上げます。

アジア旅の回廊 (8)

(ミャンマー編)

澤田 雅司

ミャンマーはかつてビルマと呼ばれていたが、私にはその方がなじみ深い。私の伯父は、第二次世界大戦中ビルマで戦死した。唯一の男の子を亡くした祖父母は、私をさもその生まれかわりの如く愛し育ててくれて「ビルマの伯父さん」という言葉や戦死の状況は竹山道雄著「ビルマの竖琴」で読んだり、映画を観たりで私の心の中に深く刻み込まれてきた。

ミャンマーを最初に訪れたのは十数年前のことで、軍事政権下、アウンサン・ス・チーさんの家には近寄れもしなかった。ただ「ほほえみの国」といわれるだけあって外国人に対する態度はやさしく、日本人に対しても好意的ですらあった。日本の古き良き時代を思わせる写真を数多く撮ったが、バガンの遺跡群を見た時は心が痛んだ。原野に乱立するパコダ*は傷み、中のすばらしい壁画には白いしっくい塗ってあった。同じような状態は中国、スリランカ、その他の国々でも見られたが、結局現状の財政では文化遺産にまで手が回らないということであろう。日本では次々に文化遺産、世界遺産が認定されているのに、発展途上国にはその救援の手が伸びないのいかにも残念な気がする。

近年、ミャンマーの日本人学校で教師だった人、ミャンマーで医療活動や孤児院の経営をしている「ジャパンハート」の吉岡医師の従兄弟の人など、いろいろな人の縁でミャンマーを毎年訪問してきた。特に国民の勤勉さとやさしさは、民主化政策が一段と加速化したことによってより国を発展させ、外国資本の導入も進んできているようだ。日本語への関心も深く、日本語の塾なども多いが、それが僧院などで開かれている。そういった意味では仏教(僧院)の果たしている役割は高く、孤児院や学校、医療施設なども附属している場合もある。旅をすればするほど見る所も多く、また今後の政治、経済、社会の変化が楽しみな国の一つがミャンマーである。

*パコダ…卒塔婆の変形として建てられた仏塔



托鉢へ(マンダレー)



廃墟の子(バガン)



田植え風景(ヤンゴン近郊)



ジャパンハートの病院(サガイン)

「アジア旅の回廊」の著者・澤田雅司様が、平成26年10月17日(金)にご逝去されました。故人のご遺徳を偲び、哀悼の意を表します。

知多の動植物雑記(三二四)

原 穰

先月は、吉町田湿地の公開日のことをメインに書いてたつもりなのに、吉町田湿地でクモの調査を始めてから、十五年目にして初めて目にしたクモに感動勿論中学生の「あのクモ何ですか」の質問によるものであったが、とくに角大感動で



吉町田湿地の可愛いクモさん

Oh! いたいた! となつてしまふことが多い。今回も、その通りで、写真①の左はシロカネイソウウグモ。長い名前でわかりにくいのが、漢字で書けば、白銀居候蜘蛛で、白い銀色をした胴体をしており、自分は網を張らずに、他のクモの網に入り込み、

湿地の植物のことは、名前だけの紹介になってしまつてた。なにも! 今月も亦クモの紹介になっている。魚、虫、クモの大好きな爺さんなので、公開日当日でも、昼時の参観者の姿が無くならない、すぐクモいるかなーとウロウロ、そして、

②はアズチグモで、網は張らず草間を歩きまわつて、虫を捕らえるクモであるが、ろうそくの様な半透明の白色をして、頭部前部に逆三角形の褐色斑があり、体長僅か八、九程の小さく可愛いクモである。こんなクモさんに出会うから楽しいデス。

そこに住んでいるクモの網にかつた虫や、食べ残したものを食べている、いわゆる居候クモと名付けられたということです。よく目にするのは、秋に入った頃、シヨウウグモなどの大きな網に、五匹、六匹と散らばり住んでいる姿です。

ちよとちよと

陶房杉 杉江 匠さん



陶房杉の歴史は明治25年まで遡る。創業から、食器、花器、陶壁画等、クラフトからアートまで幅広い創作活動を続けてきた。匠さんは4代目になる。



美意識を匠さんは大切にしている。常滑には、桐蓋・取っ手・注ぎ口のパーツからなる常滑焼の急須がある。急須を一段と際立らせる技術もある。引き継ぐ人がいないと、もったいない。この技術は継承されるべきだと匠さんは話す。お茶を出す行為はお客様をもてなしするという意味が込められていて、日本のゆかしい文化が育てた急須でお茶を淹れる素晴らしいことを伝えていくことも、匠さんの務めでもあるように思う。なぜなら、常滑の急須が大好きで、常滑を熱く語り、常滑が大好きな人だからだ。

色の絵付けをしたポットを作った。絵付でゴージャス感を出したというポットが自慢の作品のようだ。匠さんならではの手仕事を感じるポットは、他との違いを出そうと始めたという。他とは違うぞと、意気揚々と話してくる。でも、その差別化がポットの印象を著しく損ねてしまったのか、個性が先行してしまつたのか、売れなかつたと苦笑を浮かべた。売れなくても、このポットは相当匠さんの自信作のようで、「ちよとちよ」という技法で今度は何を作るつもりなんだろうかと。

若竹俳壇

作品募集 毎月十日までに葉書で 発行所へ

煙吐かぬ煙突の空小鳥来る

吉田ひろし

稲架掛ける子等に届ける里の味

蟹江 永了

先生より生徒年長夜学の灯

斉藤 浩美

抱き上ぐる赤子の重み秋高し

加藤 久子

漣に暮色ただよう浜の秋

片岡 光子

灯火親し奈良のホテルにある古事記

谷川と志江

物忘れ母と競るほど木の葉髪

塚本 千鶴

椋鳥の群の賑やか宮の杜

平野 紀江

旬の味ひと手間かけて栗御飯

磯村美耶子

短夜に夢の続きを盗られけり

古川 義高

秋深みゆく喜びも悲しみも

古川三恵子

ちちる鳴く小学生の通学路

岩田つま子

明月や肉球舐める細猫

竹内三千彦

十三夜月喰うてみたいあかりかな

中村 洋子

スビーハートのベランダ下くぐりなど、その他、材料が必要詳細はお問い合わせください。知多教育研究会 山本 271-1902 ※当日参加自席です。 第三十回武豊町産業まつり(八月九日)

石巻ササナツツアツツ教室(十日) 内開講(午後六時) 同日(午後四時) 参加費 五十名(小学生以上) 参加費 無料

武豊町民会館(八月九日) 内開講(午後六時) 同日(午後四時) 参加費 五十名(小学生以上) 参加費 無料

わが家のニューフェイス



山際莉緒(2才7ヶ月) 真緒(1才) 武豊町谷口

写 真 ・ 文	ン ジ 精 神 旺 盛 ・ 野 心 家 な 私 ご す	未 る と 嬉 し く マ リ 😊 ヤ レ	お 手 伝 い に も チ ヤ レ ン ジ ! 褒 め ら	自 分 の 事 だ け で な く は や マ マ の	ん と し て 頑 張 っ て い る よ 。 最 近 は	が ら 姉 妹 仲 良 く 過 ご し 。 お 姉 ち や	一 緒 に 遊 ん だ り ケ ン カ し た り し な	だ ま だ 甘 え ん 坊 な 私 だ け ど 毎 日	ん に な り ま し た 。 ま	月 に 真 緒 の お 姉 ち や	莉 緒 が す 。 去 年 の 11	は じ め ま し て 。 山 際
------------------	--	---	---	--	---	---	---	--	---	---	--	---



愛とMy Family



衣川楓(3才) 陽(1才2ヶ月) 心(6才) 常滑市栄町

写 真 ・ 文	ニ 人 の こ と が 大 好 き で す	け ど 僕 は い っ ぱ い 遊 ん で く れ る	ら を し て 困 ら せ て や う こ も あ る	僕 を 笑 わ せ て く ら ん だ よ 。 い た が	は 、 お も し ろ い こ と を し て い っ つ も	で く れ た り す る ん だ 。 お 兄 ち や ん	読 ん で く れ た り 、 お も ち で 遊 ん で	い る ん だ 。 お 姉 ち や ん は 、 三 才 の お 姉 ち や ん と 、 陽 で す 。 僕 に は 、 は じ め ま し て 。 衣 川
------------------	---	--	--	---	--	---	---	---



従業員募集

パート・アルバイト
数名

お通夜・告別式運営のためのスタッフ

- 男女50才くらいまでの方(お通夜・告別式のある時に働ける方)

仕事内容・勤務時間等、詳しくは 総務 衣川まで

CSK葬祭 TEL.0569-35-2785



常滑瑞雲殿 常滑市北条1-34



青海瑞雲殿 常滑市青海町1-1

小さなご葬儀から大きなご葬儀まで
誠意と真心で…あんしんのかげはし



ご葬儀事前相談随時受付中 9:00~16:00 0120-33-5909

デュプロ販売株式会社 (名古屋)

東海・北陸地区発売元

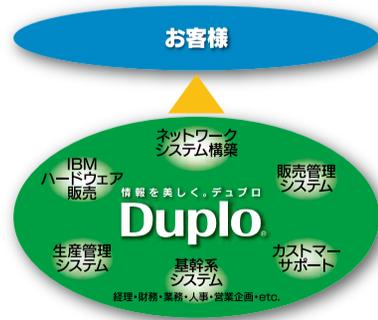


デュプロは
コンピュータネットワークを活用した、
お客様の新しいビジネススタイル
"e-BUSINESS"を提案していきます。

情報を美しく。デュプロ

Duplo

from print to documents



デュプロ販売株式会社

〒460-0015 名古屋市中区大井町4番19号 TEL(052)321-2020

初冬の服

母親専用アイテム

2014年11月6日(木)〜9日(日) 10時〜17時(水曜定休)

縮絨ワールのジャケット、重ね着のためのTシャツ
ふわふわメリノウールのストール
冬の楽しい服展です。
治郎兵衛でお待ちしております。



しるべえ
治郎兵衛

〒470-2544
知多郡武豊町里中128-1
☎(0569)72-0160

